

品番 NFM42733

・器具の取り付けには電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

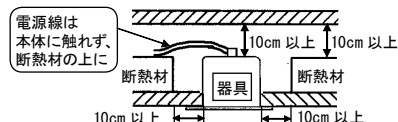
⚠ 危険

- 断熱材、防音材をかぶせた状態で使用しない。
火災の原因となります。

- ・住宅の断熱施工天井には、使用できません。

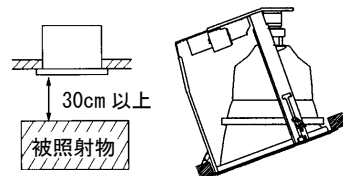


器具は、断熱材・防音材・造営材等と下図のような空間を設けて施工してください。



⚠ 警告

- 施工は、取扱説明書にしたがい確実に行う。
施工に不備があると火災・感電・落下の原因となります。
- 器具の改造および構成部品（ソケットなど）の交換はしない。火災・感電・落下の原因となります。
- 器具の取り付け部以外の本体外郭が、天井内の造営物やダクト、電気配線等の設備に触れないように施工する。
火災の原因となります。
- 天井埋込専用です。指定以外の取り付け、壁面取り付け及び天井直づけをしない。
火災・落下の原因となります。
傾斜天井に全般照明として使用の場合、天井傾斜角 $10^{\circ} \sim 30^{\circ}$ の範囲で使用する。
- 必ず表示された定格電圧（ $100 \sim 242V \pm 6\%$ ）の電源電圧で使用する。
火災・感電の原因となります。
- 器具と被照射面は $30cm$ 以上離す。被照射物の火災・変色の原因となります。



傾斜天井埋込取付状態

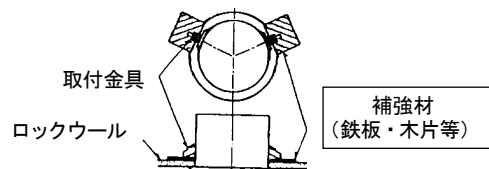
⚠ 注意

- 一般屋内用器具です。直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、水気の多い場所、腐食性のガスの発生する場所では使用しない。
火災・感電・落下・サビの原因となります。
- 軒下、屋側通路等の雨の吹き込みを受ける場所で使用しない。
火災・感電・落下・サビの原因となります。
- 周囲温度は、 $5 \sim 35^{\circ}C$ 以外では使用しない。
火災またはランプ短寿命の原因となります。
- 振動のある場所では使用しない。火災・感電・落下・取り付け面のスキマおよび変形の原因となります。
- ライトコントロール、明暗スイッチなどと併用して使用しない。火災の原因となります。

施工上のご注意

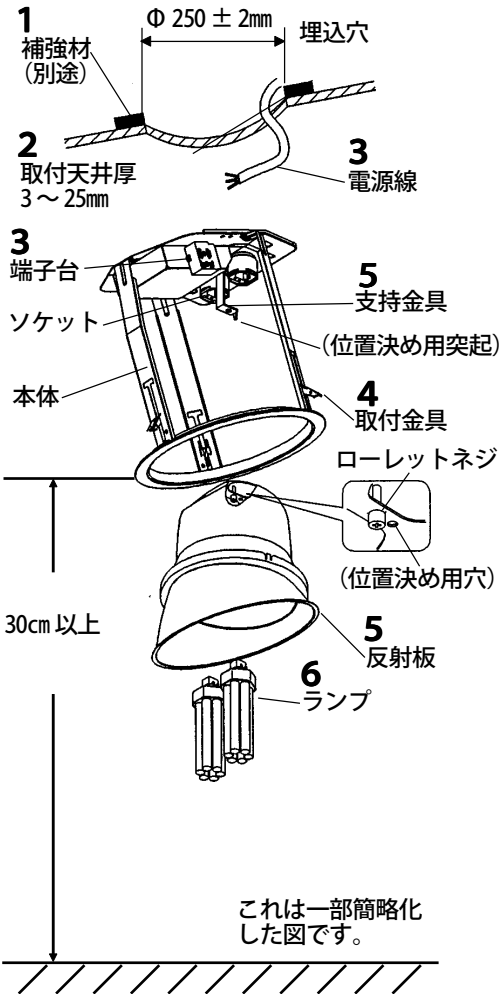
- 取り付け面がクロス貼りの場合、接着剤が十分に乾燥してから器具を取りつけてください。
サビや変色の原因となります。
- 蛍光灯は周囲の温度や風により明るさが変化します。
プレナムリターン等の換気方式で器具への空気の出入りが強い所や、低温となる場所では使用しないでください。
極端に暗くなったり、点灯直後にちらつきが発生する原因となります。
- ロックウール等、やわらかい天井及び珪酸カルシウム板の天井に取りつける場合は、必ず取付金具と天井の間に補強材（鉄板・木片等）を入れてください。
補強材のない場合、器具落下・光モレの原因となります。

やわらかい天井に取りつける場合



各部のなまえと取り付け方

ロックウール等のやわらかい天井及び珪酸カルシウム板の天井に取りつける場合は、必ず取付金具と天井の間に補強材（鉄板・木片等）を入れてください。
補強材なしの場合、器具落下・光モレの原因となります。



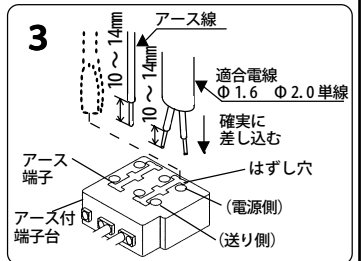
1. 取り付け前の確認をする

- 器具質量（約 1.8 kg）に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。
不備がありますと器具落下の原因となります。

2. 天井に埋込穴 $\Phi 250 \pm 2\text{mm}$ をあける

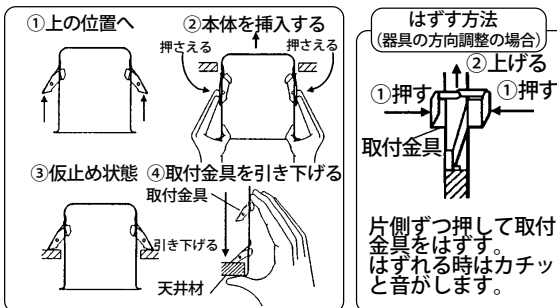
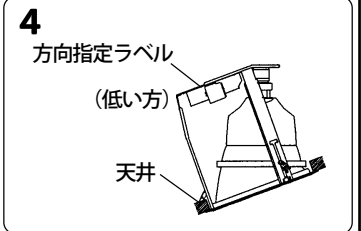
3. 電源線を端子台に接続する

- 電源線、アース線を端子台の差し込み穴の奥まで確実に差し込む。
【D種（第3種）接地工事が必要】
- 端子台の送り容量は 20 A です。
接続が不完全な場合、容量オーバーした場合、火災の原因となります。

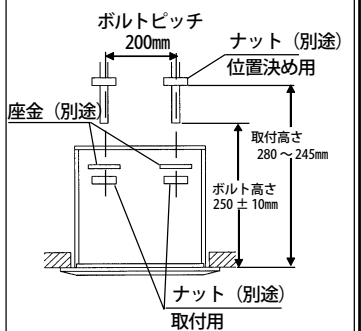


4. 本体を取りつける

- 方向指定ラベルに従い矢印の方向を天井の高い方へ向けて取りつける。
- ① 取付金具を本体上部へとどめておく。
- ② 取付金具を内側へ押さえながら、天井に挿入する。
- ③ 仮止め状態とする。
- ④ 取付金具を引き下げて、本体を確実に固定する。
不備がありますと落下の原因となります。



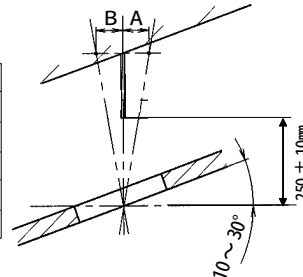
ボルト吊りの場合



取付ナットは締め過ぎないようにする。
・ボルト取り付け時は本体が変形しないように取付ナットの締めつけ力を調整する。反射板及びランプの取り付けができなくなります。
・Wナット方式で緩まないように取り付ける。
・吊りボルトはW 3/8 又は M 10 を使用する。

天井傾斜角と器具寸法及びボルト位置の関係

傾斜角度	A・B寸法
10度	A側に50
15度	A側に25
20度	±0
25度	B側に25
30度	B側に50



5. 反射板を取りつける

- 支持金具の突起部と反射板の穴を合わせ、枠の開口部と反射板つば部が合うようにローレットネジを締めつけ確実に取りつける。
不備がありますと落下の原因となります。

6. ランプ（別梱）を確実に取りつける

- ① ランプの口金ピンをソケット穴に合わせ、奥まで確実に差し込む。
- ② 差込んだ状態でランプを少し回転させ取りつける。
（回転角度約 15°）
- ③ 取りはずす場合には、ソケットに取りついた状態のままランプを取りつけと逆方向に少し回転させる。
回転が不十分な場合、落下の原因となります。
ガラス管を強く握らないでください。
割れる恐れがあります。

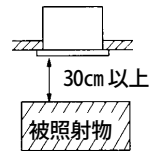
警告 照射物・照射面との距離は 30 cm 以上離す。
被照射物の火災・変色の原因となります。

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 器具の改造および構成部品（ソケットなど）の交換はしない。
火災・感電・落下の原因となります。
- 布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしない。
火災の原因となります。
- 器具と被照射物の距離は、30 cm 以上離す。
被照射物の火災、変色の原因となります。
- 異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・工事店に相談する。
火災・感電の原因となります。



⚠ 注意

- 器具の下に温度の高くなる物（ストーブ・ガスレンジ等）や湿気を発生させる物を置かない。
火災の原因となります。
- ランプ交換の際には、器具表示及び取扱説明書にしたがって、指定されたランプを使用する。
指定以外のランプを使用すると、火災やランプ破損の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
 - ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
 - ・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。

使用上のご注意

- ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。
雑音が入ったり正常に動作しない場合があります。
- 同時通訳機等の誘導無線をご使用になれる場合、雑音が入る場合があります。
事前に確認し、対策を講じてください。
- シンナー・ベンジン・アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質・強度低下による破損の原因となります。

保証について

- 保証について
この商品の保証期間は1年間です。但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器・LED電源は3年間です。
ランプ・グロー点灯管・電池などの消耗品は除きます。
詳細は弊社カタログを参照ください。
- 保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品の保有期間
弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・ランプ交換



注意

必ず電源を切って行ってください。
感電・やけどの原因となります。

- ＜器具の清掃について＞ ・ 水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー・ベンジン・アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質・強度低下による破損の原因となります。
- ＜ランプ交換について＞ ・ 器具表示にしたがって、下記の指定されたランプを使用してください。



推奨ランプ

24形コンパクト形蛍光灯（パナソニック製・OSRAM製）FHT24
32形コンパクト形蛍光灯（パナソニック製・OSRAM製）FHT32
42形コンパクト形蛍光灯（パナソニック製・OSRAM製）FHT42



注意

- ・ 点灯中や消灯直後はランプやその周りにさわらないこと。
やけどの原因となります。
- ・ ランプを確実に取りつける。落下の原因となります。
- ・ ガラス管を強くねじらない。割れる恐れがあります。

ランプの取り付け・取りはずし方法

- ①ソケットに取りついた状態のままランプを
少し回転させ取りはずす。（回転角度約15°）
- ②ランプの口金ピンをソケット穴に合わせ、
奥まで確実に差込む。
- ③取りつける場合には、差込んだ状態で
取りはずしと逆方向に回転させる。

すべりやすい手袋はご使用にならないでください。
ゴム手袋のご使用をおすすめします。

